

登録コード	TSY09600	開講年度	2026				
授業科目	建築史学実験					担当教員	梅干野 成央
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Architectural History					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				歴史的建造物の保護について、保存活用計画を立てることができるようになる。		
(2)授業の概要	寺院、神社、住まい（農家・町家）、近代洋風建築、近代和風建築、近代化遺産、モダニズム建築のなかから二つの建築（ ・ ）について、保護のための保存活用計画書を作成する。その際、建築が所在する地域の現状をふまえつつ、伝統文化を発展的に継承することによって描かれる地域の未来にもとづいて、保存活用計画を構想する。						
(3)授業計画	第1回：[建築] 保存活用計画書の作成に関するガイダンス 第2回：[建築] 実測調査 第3回：[建築] 史料調査 第4回：[建築] 聞き取り調査 第5回：[建築] 価値に関する検討 第6回：[建築] 価値をふまえた保存計画（方針）の検討 第7回：[建築] 保存計画（方針）のチェック 第8回：[建築] 価値をふまえた保存計画（設計）の検討 第9回：[建築] 保存計画（設計）のチェック 第10回：[建築] 地域の現状をふまえた活用計画（方針）の検討 第11回：[建築] 活用計画（方針）のチェック 第12回：[建築] 地域の現状をふまえた活用計画（設計）の検討 第13回：[建築] 活用計画（設計）のチェック 第14回：[建築] 保存活用計画書の作成 第15回：[建築] 保存活用計画書の発表と講評 第16回：[建築] 保存活用計画書の作成に関するガイダンス 第17回：[建築] 実測調査 第18回：[建築] 史料調査 第19回：[建築] 聞き取り調査 第20回：[建築] 価値に関する検討 第21回：[建築] 価値をふまえた保存計画（方針）の検討 第22回：[建築] 保存計画（方針）のチェック 第23回：[建築] 価値をふまえた保存計画（設計）の検討 第24回：[建築] 保存計画（設計）のチェック 第25回：[建築] 地域の現状をふまえた活用計画（方針）の検討 第26回：[建築] 活用計画（方針）のチェック 第27回：[建築] 地域の現状をふまえた活用計画（設計）の検討 第28回：[建築] 活用計画（設計）のチェック 第29回：[建築] 保存活用計画書の作成 第30回：[建築] 保存活用計画書の発表と講評、授業アンケート						
(4)成績評価の方法	レポート（保存活用計画書 ・ ）を課し、基本的内容を理解したと認められる者（レポート（保存活用計画書 ・ ）において60点以上の成績）について単位を認定する。						
(5)成績評価の基準	（1）歴史的建造物の保護について理解していれば「水準にある」。（2）この基礎的知識を事例にもとづいて理解していれば「やや上にある」。（3）歴史的建造物の価値を読み取り方を理解していれば「かなり上にある」。（4）以上をふまえ、歴史的建造物の価値と保護のあり方を体系的に理解していれば「卓越している」。						
(6)事前事後学習の内容							
(7)履修上の注意	なし						
(8)質問、相談への対応	質問・相談にはいつでも応じる。メールでも可（hoyano@shinshu-u.ac.jp）。						
(9)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	指定しない						